

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和2年度 第2回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和3年3月18日(木)午後2時00分開会 午後3時10分閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	齋木 茂 (代行)
出席委員(者)氏名	篠塚清治 町田邦弘 森山治代 齋木 茂 根岸 桜 小暮欽作 西村めぐみ 村野裕子 青木和子 幸森康夫 田辺暁己 西澤泰男教育長
欠席委員(者)氏名	正高喜吉 山畑雅浩 野田あさ子
説明者の職氏名	吉川社会教育課長 原田社会教育課主事 大橋社会教育課主事補
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) 事務局より報告 社会教育課関谷主幹 1月15日よりワクチン接種担当として併任 となる。 社会教育委員会議 1 開 会 2 副議長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協議事項 (1) 成人式について (2) 社会教育委員2年間の活動を振り返りについて (3) 社会教育担当各課からの報告について 7 その他 8 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	新見教育部長、片寄教育部次長兼図書館長 石川博物館副館長、宮岡中央公民館長、 吉川社会教育課長、関谷社会教育課主幹、原田社会教育課主事 大橋社会教育課主事補、村田社会教育指導員

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 協議事項

- (1) 成人式について
- (2) 社会教育委員2年間の活動を振り返りについて
- (3) 社会教育担当各課からの報告について

2 報告事項

(1) 社会教育課

吉川 社会教育課長

- ① いるま生涯学習フェスティバル特別企画「フェスティバル四半世紀の回顧」

日時：令和2年11月29日(日)

会場：産業文化センター

参加者：45人(オンライン同時配信ライブ視聴者数51件)

- ② 配付資料

- ・令和元年度埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会研修集録
- ・社教情報 第84号
- ・社教連会報 第88号
- ・文芸入間 第43号
- ・広報 人権教育
- ・令和2年度入間市人権教育実践報告会資料

(2) 博物館

石川 博物館副館長

- ① 第24回むかしのくらしと道具展は「中止」だけど、「ころんでも、ただでは起きない『道具展』」キャンペーン

・期間：1月6日(水)～

・会場：市内各小学校(出前授業)、ホームページ・フェイスブック他(展示風景画像実演動画)での配信

- ② 東日本大震災 写真パネル展

・期間：3月11日(木)～4月11日(日)

・会場：特別展示室 / 市民ギャラリー

- ③ 旧黒須銀行特別公開

・日時：3月13日(土)14日(日)午前10時～正午

・会場：旧黒須銀行

- ④ 西洋館講座「西洋館に付随した茶室」

・日時：3月20日(土)午前10時～正午

・会場：西洋館

- ⑤ 西洋館ステンドグラス修繕完了報告会

・日時：4月25日(日)午前10時～正午

・会場：西洋館

- ⑥ 配布資料

・「むかしのくらしと道具展」の出前 始めました プレスリリース

・東日本大震災写真パネル展 チラシ

・令和3年(2021)旧石川組製糸西洋館一般公開 チラシ

・西洋館講座「西洋館に付随した茶室」 チラシ

・西洋館ステンドグラス修繕完了報告会 チラシ

議事の概要（経過）・決定事項

(3) 図書館 片寄 教育部次長兼図書館長

① 蔵書点検に伴う休館（本館および各分館・宮寺配本所・移動図書館車）

・休館日：3月8日（月）～3月12日（金）

② 配布資料

・図書館だより 2021年3月号

(4) 中央公民館 宮岡 中央公民館長

① 第25回 ドラマフェスタ in いるま 「あそびつくそう！」

・市民ミュージカルシネマ「飛べ！孫悟空」

日時：①3月20日（土） 午後4時開演

②3月21日（日） 午前10時開演

会場：市民会館

・公演部門

参加団体による演劇・パネルシアター・ワークショップ等

日時：3月20日（土） 午前10時30分～午後4時30分

3月21日（日） 午前10時～午後4時

会場：中央公民館・市民会館

・特別参加品 狂言ミュージカル「棒縛り・釣狐」

日時：3月21日（日）午後2時 開演

会場：市民会館

4 その他

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
<p>齋 木 副 議 長 大 橋 主 事 補</p>	<p>※議長不在のため、副議長が代行する。</p> <p>協議事項（１）成人式について事務局より説明をお願いします。</p> <p>令和３年成人式は、参加者の安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染防止策を強化して開催した。当日は、入間市公式 YouTube チャンネルによるオンライン同時配信も行い、自宅から参加可能な環境も整備した。例年との変更点として、２部制を３部制へと変更し、式典時間を４５分から２０分程度へと縮小、恩師からのビデオメッセージを開式前に放映したことなどが挙げられる。また、式典後の同窓会については、年末に成人者にハガキで自粛要請を依頼した他、中学校当時の担当教諭から同窓会自粛要請を周知した。</p> <p>ここで、入間ケーブルテレビで放送された「成人式の様子」と「成人の言葉発表者へのインタビュー」より一部抜粋して放映する。</p> <p>続いて、令和４年成人式については、令和４年１月１０日の成人の日に開催するが、会場の市民会館が一時閉鎖となることに伴い、会場や時間、内容等については、現在検討中である。今後内容等が決まり次第、市ホームページ等で情報発信をしていく。</p> <p>最後に、令和４年（２０２２年）４月から、成年年齢が１８歳に引下げられる。それに伴い、成年年齢引下げ後の「成人式」に代わる名称案について、今後、委員より意見をいただきたいと考えている。</p> <p>説明のあった資料について委員より質問・意見はあるか。</p> <p>特に無いようなので、続いて、協議事項（２）社会教育委員２年間の活動を振り返ってに移る。</p>
<p>齋 木 副 議 長 篠 塚 委 員</p>	<p>２年間行った社会教育活動や各所属団体における活動の振り返りと共にコロナ禍における感染症対策の工夫点、改善点について資料に載せていない事項について報告をお願いしたい。</p> <p>学校は２か月遅れで新年度をスタートし、試行錯誤の中での毎日であった。教育委員会からの指導もあり、感染症対策を徹底しながらも、何もかも止めるのではなく、何とか工夫をしながら思い出に残る教育活動を行うという方針で一年間やってきた。修学旅行も秋に延期した。行き帰りのバスの中も普段であればレクなどで盛り上がるが、車中でもマスクを着用し喋らずに過ごした。バスの中では自分たちで作ったゲームや余興などの DVD を流すことにより、子どもたちは飽きることなく喜んでいて。宿でも密を避けながら楽しめることを工夫しながらの修学旅行であった。運動会も本来であれば全校一斉に行いたいところであるが、２部制に分け、密になる競技はできるだけ避け工夫をしながら実施した。給食は一番感染リスクが高いので、放送を聴きながら全員前を向いて、席を離して黙々と食べるという給食であった。入学した１年生にとっては小学校の給食はこういうものなのかと思っているのではないだろうか。一日も早く感染症が収束し、元のような楽しい給食をとれるとよいと思っている。このような中でも子どもたちは学校が大好きで休み時間には楽しく校庭で遊んでいる。まもなく卒業式であるが、在校生は参列せず、卒業生と保護者は２名までとし、来賓の人数も少なくしての式典となるが、思い出に残る式典となるよう工夫や努力をしていく。</p>

発言者	発言内容
町田委員	<p>2年間、入間市の社会教育について学ばせてもらった。微力ではあるが入間市の社会教育に貢献できたことを感謝している。成人年齢引き下げに伴う成人式について、地区センター化について意見を述べさせてもらった。委員の皆さんはそれぞれの社会教育団体で活躍されている方で、市全体の社会教育の発展のヒントというのは、それぞれの団体の活動の中にあると考える。そういった声をこの場でも出せ、議論できる場であっても良かったのではないかと。社会教育というのは一生にわたって行われる教育である。それに対して学校教育はその一時代のみである。とはいえ一生学び続ける姿勢や、習慣、地域との関わりという部分のベースは学校教育・家庭教育にあると改めて思った。子どもたちが将来大人になった時に、社会教育の充実がうまく繋げるためにも、学校教育が持つ役割や責任を強く感じた。豊岡高校では、吹奏楽部、音楽部、パトロン部等が地域のイベント活動に参加させていただくことある。野球部も万燈まつりの時に清掃ボランティアとして活動させていただいているが、地域との関わりはあまり多くない。しかし、昨年度から「総合的な探求の時間」としてSDGs（持続可能な開発目標）をテーマに学習しており、市役所職員から市の取り組みについて話を聴いた。また入間市青年会議所からまちづくりについてオンライン会議の参加要請があり生徒が参加した。来年度は青年会議所が45周年を迎え「入間市の未来について考えよう」を2年生が青年会議所とのコラボレーションしてやっということになった。生徒にとっても社会教育と繋がる接点になるかと期待している。</p>
森山委員	<p>音楽協会はコンサート活動が中心であり、コロナ禍でほとんどが中止・延期となった。その中で工夫したのが出演者を半分に分け、オータムコンサートを2回に分けて行ったことである。観客も通常の半分で行った。その他、YouTubeを開設し、最初は生配信にチャレンジした。今年3月7日のスプリングコンサートはアーカイブ配信を行った。演奏をビデオに収録し、そのビデオに曲名・出演者などの情報を加え配信した。コンサートには遠くて来られない方たちなど多くの方に喜んでもらえた。これを活かして次回開催する時にも皆さんに聞いていただければいいなと思っている。</p>
根岸委員	<p>子ども会の活動はほとんどできず、予定はしていたが緊急事態宣言などにより大きな事業はすべて中止となった。そのせいもあり子ども会離れが進んできている。何もできないのなら入っていても意味がないということで今年休会になる所が大変増えてしまった。そのため、来年からは単位子ども会が減ってしまう。このままでは良くないということで、「子ども会とは」ということを見直す機会と捉え、話し合いを行っている。来年度もかるたをはじめそれ以外の行事も計画しているのだが、どこまでできるか分からないので考えながら進めていきたい。</p>
小暮委員	<p>特にない。</p>
西村委員	<p>図書館や博物館など多くの講座が中止になってしまい、自由に図書館に行き開架の図書棚より本を見るとか、自由に博物館に行き見学してくるとかがほとんどできない状況の中で自粛生活を送っていた。そのため、今までいかに社会教育が社会生活に関わっていたのか自覚できた。コロナ禍ではできないことがたくさん出てきてしまい、不要ではないが不急ではないことがたくさんあるのだなと感じた。これから緊急事態宣言が解除されても急に元のようにできるわけではなく、</p>

発言者	発言内容
村野委員	<p>図書館は今まではできるだけ開館時間を延ばすというようにやってきたが、今後は短い時間でもよいので開館していただき、人数制限をすとか、図書の貸出期間の日数を少し増やすとか、図書館に通う日数を減らす工夫はできないであろうか。そうやって開館すれば利用者も安心するのではないか。</p> <p>図書館が指定管理5年目を迎え選定委員会があった。そこで今までとは違う指定管理者が選定された。実際にはコロナ禍であり選定委員が図書館を全員で視察することができなかった。そのためプレゼンが上手な業者が選ばれたと感じた。選定委員会も5年ごとに行われるが、選定の方法にもう少し工夫が必要であろう。そのことが市民の安定した活用にもつながるのではないか。</p> <p>「子ども食堂ネットワークいるま」で行っているランチお届けプロジェクトは家で昼食を食べることが難しい子どもたちに冷凍食品等をランチとして届けるものである。多くの方にご協力をいただき感謝している。一年前に学校の臨時休校が5月までとなり3か月間で600セット位配付した。前回の冬休みは213セットであり、今回の春休みは280セット出ることになっており、困りごとの深刻さも増しているし、困っている人が増えているなど感じる。一年前にやった時は今だけ困っているから、今乗り越えれば大丈夫と思っていたが、ずっと困ったままだということが良くわかる。学校の方にも協力をしてもらい感謝している。今後も長期休みにはできたらと思っている。</p> <p>これ以外で、子育て支援センターでスタッフをしている。子育て中のお母さんお父さんの支援ができればと行っている。予約制で定員を設けているが、今も3週間先まで予約がいっぱいである。小さい子どもを連れての3週間後の予定などは実際には分からない。</p> <p>その他、アイクルでは遊びの広場も開設しているが、コロナ禍で集まれないので今は屋外で行っている。曜日ごとに場所を決めて、来たいときに来られるようにしているが、多い時で100人を超える人がやってくる。それだけみんな遊ぶ場所に困っているのだと分かる。同時に相談業務も行っているが、今までの電話相談に加えてLINE相談窓口を開設した。想定では子育て中のお母さんの相談を受けるつもりでいたが、10代の若い方からのLINE相談も入るようになり、それが割と深刻だったりする。そこで若者向けの広場も開設した。アイクル近隣の中学高校で配布していただいて、毎月最終金曜日に夕方5時から夜9時まで開けて今年もやろうと考えている。可能なら食事を出したいと思っている。何をしても良いしfreeWi-Fiもあるので多くの若者に来てほしいと思っている。</p> <p>もう一つ、プレイパークを作りたいという活動もやっている。「冒険あそび場」を市内に創りたい。遊びと何かを組み合わせると楽しいことをいっぱいやっていきたい。たとえば遊び×防災とか、遊び×お祭りとかをやっていきたいのでよろしくお願したい。</p>
青木委員	<p>入間市の文化遺産をいかす会では、コロナ禍で活動が制約され、役員会もほとんど開かれなない状態であった。ようやく宣言が解除されることになり、会議も行われるのではないかとと思っている。文化遺産をいかす会以外に、4年前より東町で子ども食堂を立ち上げた。3年前より自分たちで自主的にやっていくことになった。</p>

発言者	発言内容
幸森委員	<p>最初は不安もあったが、参加する子ども、お母さんや協力するスタッフも増えたところで、昨年のコロナによる非常事態宣言でストップしてしまった。8月を通して勉強会を行い、10月のハロウィンや12月のクリスマスに感染に注意しながら子どもたちと楽しく過ごすことができた。このようにして、地域の交流を進めていければと思っている。私事ではあるが、今年度で社会教育委員を辞したいと思う。6年間お世話になりました。</p> <p>生涯学習をすすめる市民の会では、ネットで会議をするようになった。市民の会が25周年を迎え振り返りということで、これまでご尽力いただいた先輩方からコメントをいただきYouTubeで生配信し、新しい体験をした。先日もZoom会議を行った。これからは、このような形で会議等も続けていくのかと思っている。</p> <p>人が集まることができない中、生涯学習フェスティバルも色々な市民活動をしている皆さん方に活動の様子を映像で保存していただき、フェスティバル会場図にその様子を落とし込み、ネットで会場を覗くとそこでフェスティバルをやっているなど行うこともできるのではないかという話も出た。これからはこのような形で進んでいくのかと考えた。</p>
田辺委員	<p>幼稚園では、2年間を振り返ってみると令和元年度幼稚園教育では大きな転換点があった。それは無償化である。3歳から5歳までの子どもの授業料が無償となった。具体的には一人に月27,000円、預かりも37,000円までとなり、子育て世代には非常にありがたいことであったが、年度途中の令和元年10月1日スタートであり本当に大変であった。無償化の主旨を理解することから、事務手続き等非常に煩雑なこともあり、市役所保育幼稚園課から多くのご指導いただき、どうか今に至っている。一年間が経ち、事務的には他市との関係など、事務手続きのやり方などが違ってくるので煩雑であることなどまだまだ課題はある。本年度この無償化についての対応について、幼稚園会の方でまとめて保育幼稚園課に提出しようと考えている。また、本年度はやはりコロナ対応ということで、卒園式・入園式・運動会・生活発表会など、今まで前例のないことが多い。開会式、閉会式を3回やる3部形式で行い、保護者の方も入れ替えるなどできる限りのことをやってきてそれは成果をあげたと考えている。保育の方でも幼稚園は密が当たり前のところである。その中でどうやって良い保育をしていくのか悩んだ。実際に緊急事態宣言が出た時には、歌を歌わない、リコーダーは運指練習のみとなりこれで良い保育ができるのかとも考えた。このように可能な範囲で保育をやっているような状況である。市内9園あるがそれぞれ工夫をしながらまもなく終業式を迎える。幼児にも感染率が高まってきていると聞いて心配している。</p>
齋木副議長 吉川社会教育課長	<p>皆さんコロナ禍で、それぞれ工夫して活動を行っていることが分かった。</p> <p>体育協会は、様々な行事がほとんど中止ということであった。</p> <p>次の協議事項(3)社会教育担当各課からの報告についてお願いします。</p> <p>先程、幸森委員からもあったが、いるま生涯学習フェスティバル特別企画「フェスティバル四半世紀の回顧」として、11月29日に産業文化センターを会場にオンラインも使い参加者45名、視聴者51名という多くの方に見てもらうことができた。25周年を振り返り、今後活かしていきたいと思う。</p> <p>文芸入間第43号を発行した。今回の特集として東金子と高倉についてであり、</p>

発言者	発言内容
<p>石川博物館副館長</p> <p>片寄次長兼図書館長</p> <p>宮岡中央公民館長</p> <p>齋木副議長</p>	<p>今回の号で市内全域の「ふるさとの文化・文化財を訪ねて」の特集を終了する。博物館では、(1) 第24回むかしのくらしと道具展については緊急事態宣言により中止となったが、企画も進んでいたため小学校での出前授業のほかホームページやFacebookを使って、展示の風景や実践の様子などを配信した。(2) 東日本大震災写真パネル展は、博物館は休館しているが、このパネル展示だけは開催した。</p> <p>3月11日から4月11日までで入場無料である。(3) 旧黒須銀行特別公開はすでに終了している。110名以上の来館者があった。(4) 西洋館講座「西洋館に付随した茶室」は中止とした。(5) 西洋館ステンドグラス修繕完了報告会は補助金をいただき西洋館にあるステンドグラスの補修やクリーニングを行った報告会である。4月25日にコンサートを開催予定である。</p> <p>図書館は、開館時間は5時まで、閲覧することはできず電話・インターネット等で予約のみである。移動図書館「やまぼと号」も稼働しておらず、市民にはご迷惑をおかけしている。その中で蔵書点検を3月8日から3月12日まで行った。図書館の指定管理者が変更する。サービス向上に努めたい。</p> <p>中央公民館では、第25回ドラマフェスタ in 入間を20日(土)21日(日)に入間市市民会館と中央公民館を会場に開催する。コロナ禍、緊急事態宣言下ではあるが、楽しい遊び等が盛り沢山であり、ご来場を請う。また、本年度は中央公民館のみならず他の公民館も様々な行事が中止となったが、来年度は再び「学びを止めない」というスタンスでできるだけ多くの事業に取り組んでいきたい。</p> <p>各課から報告等があったが、何か質問等はあるか。 無いようであり、これをもって本日の協議事項を終わる。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 3 年 4 月 5 日</p> <p>議長の署名 齋木 茂</p>	